

#### 滝沢座長からのコメント

今回の2日間にわたるワークショップで発表された事例や議論は、この場にいる参加者だけでなく、国内外のすべての水道事業者関係者にとって有益な内容だったと思います。参加者及び講師の皆様の同意のもとに、主立った内容を次のように要約し、関係するすべての皆様に対して「横浜からのメッセージ」として発信したいと思います。

### 第7回 IWA（国際水協会）横浜ワークショップ参加者による 「横浜からのメッセージ」 （2012年開催 於 日本国横浜市）

水道水の供給は市民生活と社会経済活動にとって欠くことのできないものである。しかし、水道事業者は現在、施設の老朽化や料金収入の減少、人材不足といった問題に直面している。水道管のほとんどは地下に埋設されているため、老朽化は目に見えない間に進行する。この水道施設特有の不可視性による不十分な維持管理により、老朽施設の更新需要に対する実際の投資額の不足が生じる。この結果、老朽化した水道施設が招くサービスレベルの低下が、利用者の水道事業に対する信頼を損ねる恐れがある。

アセットマネジメントとは、施設の現状、将来の更新需要と投資額に関する評価を可能にする継続的な取り組みで、水道事業が抱えているこのような課題を解決するために有効な手段であり、水道事業運営にも活用すべきである。

今回のIWAワークショップでは、各国のアセットマネジメントの専門家によりアセットマネジメントの概念や手法、実施事例、水道事業運営への活用方法について発表された。また、IT技術の進歩は小規模な水道事業者がアセットマネジメントを導入する一助となることや、持続可能な水道事業の運営のために我々は人材育成により一層力を入れるべきであることが議論された。

また、これらアセットマネジメントを含む水道事業運営に関する情報は、水道の利用者と共有されるべきである。水道の水質やリスク、水道水の供給にかかるコストなど、情報の発信において広報活動が重要な役割を担っており、さらには、広聴により利用者の意見を収集することも可能となる。したがって、我々はアセットマネジメントの実施において広報・広聴活動を重要な手段として活用すべきである。

我々は、横浜で開催された2日間のワークショップを終え、世界の水道事業を取り巻く課題と挑戦について共通の理解に至った。また、持続可能な水道事業運営を可能とする手段として、アセットマネジメントが重要かつ有効であることを認識した。

ここに我々ワークショップの参加者は、水道事業の運営において、アセットマネジメントと広報活動を有効に活用し、持続可能な水道事業の実現に向けて、更に努力することを宣言する。IWAアセットマネジメントスペシャリストのこれまでの業績と水道事業者の先進事例を高く評価し参考とするとともに、世界中の事業者、特に小規模の事業者の発展に協力していく。